



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月8日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9479 URL <http://www.impressholdings.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 唐島 夏生  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役/執行役員CFO (氏名) 山手 章弘 TEL 03-6837-5000  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	9,131	4.9	525	△10.1	577	△6.2	449	7.4
28年3月期第3四半期	8,702	6.2	584	109.4	615	92.3	418	4.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 423百万円 (△1.3%) 28年3月期第3四半期 429百万円 (11.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	13.48	—
28年3月期第3四半期	12.55	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	12,186	7,315	59.9	218.82
28年3月期	11,783	6,927	58.6	207.10

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 7,300百万円 28年3月期 6,910百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	1.00	1.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.50 ～1.00	0.00 ～0.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000 ～11,300	—	50 ～200	—	0 ～100	—	0.00 ～3.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 5「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	37,371,500株	28年3月期	37,371,500株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	4,006,826株	28年3月期	4,003,766株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	33,366,455株	28年3月期3Q	33,370,676株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続きを実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

当社は、有価証券の取引等の規制に関する内閣府令第49条第2項に規定する特定上場会社等に該当し、インサイダー取引規制の重要事実の軽微基準については連結ベースの数値に基づいて判断することになります。

事業セグメント区分	事業区分		事業内容	主要な会社
IT (IT分野に関するメディア及び 関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、 販売及び広告収入等	(株)インプレス (株)IAD 英普麗斯(北京) 科技有限公司 Impress Group Singapore Pte. Ltd.
		出版	出版流通を主な販売チャネルと した雑誌、ムック、書籍等の企 画制作、販売及び広告収入等	
		ターゲット	ユーザー属性の明確な顧客層を 対象としたメディアの企画制 作、販売及び広告収入等	
	サービス事業	販促物等の受託制作及びその周 辺サービス		
音楽 (音楽分野に関するメディア及 び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、 販売及び広告収入等	(株)リットーミュージック
		出版	出版流通を主な販売チャネルと した雑誌、ムック、書籍等の企 画制作、販売及び広告収入等	
デザイン (デザイン分野に関するメディ ア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、 販売及び広告収入等	(株)エムディエヌコーポレーション
		出版	出版流通を主な販売チャネルと した雑誌、ムック、書籍等の企 画制作、販売及び広告収入等	
山岳・自然 (山岳・自然分野に関するメデ ィア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、 販売及び広告収入等	(株)山と溪谷社
		出版	出版流通を主な販売チャネルと した雑誌、ムック、書籍等の企 画制作、販売及び広告収入等	
モバイルサービス (モバイル関連のサービス事業 及びメディア事業)	メディア事業	デジタル	電子書籍の企画制作及び販売	(株)ICE
	サービス事業		モバイル端末向けサービスの企 画・開発・運営等	
その他	メディア事業		出版事業、電子出版等の事業開 発及びR&D等	(株)近代科学社 (株)インプレスR&D Impress Business Development(同)
全社			グループ経営・財務戦略の策定 出版営業支援及び物流・販売管 理等	(株)インプレスホールディングス(当社) (株)Impress Professional Works

(当第3四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

文中の事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んでおり、セグメント利益は、営業利益をベースとしております。

当第3四半期連結累計期間につきましては、読み放題サービスの広がりにより電子書籍の販売が増加、またスマートフォン向けサービスの事業規模が順調に拡大いたしました。加えて、カレンダー等の大型季節商品の出荷増により出版メディアの売上高も増加し、増収となりました。

これらの結果、売上高は前年同期（8,702百万円）に比べ429百万円増加し、9,131百万円となりました。営業損益は、増収も、アジア市場向けSP（セールスプロモーション）の受託事業及び出版メディア等の収益性の低下に加え、書籍や電子書籍の堅調な出荷に伴う販売印税の増加や人材強化に伴う人件費の増加、売上債権に対する貸倒引当金の積増し等による販管費の増加が影響し、前年同期（584百万円）に比べ58百万円利益が減少し、525百万円となりました。経常損益は、持分法による投資利益の計上等がありました。営業損益の減少が影響し、前年同期（615百万円）に比べ37百万円利益が減少し577百万円の経常利益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期のような大きな特別損失の計上がなかったことで、前年同期（418百万円）に比べ30百万円増加し、449百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益となりました。

(セグメント別の概況)

#### ①IT

ITセグメントのメディア事業につきましては、主力のデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」

(<http://www.watch.impress.co.jp/>)等の広告収入が減少しましたが、電子書籍等のコンテンツ販売が増加し、デジタルメディアの売上高が増加いたしました。また、ターゲットメディアは減収となったものの、出版メディアは既刊書籍の堅調な出荷と季節商品の出荷規模の拡大により、売上高は増加いたしました。

これらの結果、メディア事業の売上高は、デジタル及び出版メディアの増収により、前年同期（3,521百万円）比3.0%増の3,626百万円となりました。

サービス事業につきましては、アジア市場向けSP（セールスプロモーション）の受託事業の受注が大幅に減少したものの、国内受託案件の増加に加え、ターゲットメディアと連携したビジネスセミナーの規模拡大等によりイベント収入が堅調に推移しました。

これらの結果、サービス事業の売上高は、前年同期（738百万円）と同水準の731百万円となりました。

以上により、「IT」の売上高は、デジタル・出版メディアの増収により、前年同期（4,260百万円）比2.3%増の4,357百万円となりました。セグメント利益では、増収も収益性の低下により、前年同期（365百万円）比22.2%減の284百万円の利益となりました。

#### ②音楽

音楽セグメントにつきましては、雑誌事業及び既刊書籍の販売減少等により出版メディアが減収となりましたが、電子書籍等のコンテンツ販売及び事業開発を強化しております楽器購買支援サイト「楽器探そう！デジマート」(<http://www.digimart.net/>)における楽器店からの登録料及び決済サービス収入の増加等により、デジタルメディアは増収となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、前年同期（1,292百万円）比1.7%増の1,313百万円となりました。セグメント利益では、人件費等の固定費や宣伝販促費等の増加により、前年同期（15百万円）比50.2%減の7百万円となりました。

#### ③デザイン

デザインセグメントにつきましては、新刊タイトルの減少に伴う新刊書籍の販売減少を既刊書籍の販売及びカレンダー等の季節商品の出荷増で補い、出版メディアの売上高は前期と同水準となりましたが、デジタルメディアは電子書籍等のコンテンツ販売が増加したことにより増収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（633百万円）比2.5%増の649百万円となりました。セグメント利益では、増収に加え収益性の改善により、前年同期（44百万円）比52.6%増の67百万円の利益となりました。

④山岳・自然

山岳・自然セグメントにつきましては、電子書籍等のコンテンツ販売の増加に加え、登山情報サイト「ヤマケイオンライン」(<http://www.yamakei-online.com/>)の広告収入の堅調な推移により、デジタルメディアの売上高が増加いたしました。出版メディアは、本年より新設された「山の日(8/11)」関連のイベント収入等の新たな売上を創出いたしました。出荷規模の見直しによる季節商品の減少に加え、新刊書籍に前年同期のようなヒット作がなかったこと等から、減収となりました。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期(1,609百万円)比0.9%減の1,595百万円となりました。セグメント利益では、収益性の低下や販売変動費の増加により、前年同期(276百万円)比33.2%減の185百万円の利益となりました。

⑤モバイルサービス

モバイルサービスセグメントにつきましては、スマートフォン向けコミック関連サービス等の事業規模が順調に拡大、運営受託に加えて、開発案件の受託収入も増加しました。また、電子書籍レーベル「impress QuickBooks」等において、電子書籍等のデジタルコンテンツ販売が順調に推移し、大きな増収となりました。

以上により、「モバイルサービス」の売上高は、前年同期(750百万円)比37.1%増の1,028百万円となりました。セグメント利益では、固定費が増加したものの増収により、前年同期(103百万円)比51.9%増の156百万円の利益となりました。

⑥その他

その他セグメントにつきましては、人工知能関連の理工系専門書等の書籍販売が好調に推移したことに加えて、POD(プリント・オン・デマンド)の仕組みを活用した「NextPublishing」による電子書籍等の売上が増加し、売上高は前年同期(214百万円)比16.5%増の249百万円となりました。セグメント利益では、増収と収益性の改善により、前年同期(27百万円損失)から33百万円利益が増加し、5百万円の利益となりました。

⑦全社

全社区分につきましては、純粋持株会社である当社と、グループの経営管理及び販売・物流管理機能を担う㈱Impress Professional Worksが区分されており、グループ各社からの配当、情報システム等の経営インフラの使用料及びグループ各社や出版社を中心とするパートナー会社の物流・販売管理に伴う手数料収入を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

全社区分の売上高は、グループ会社からの配当収入の増加に加え、システムインフラの増強によるグループ運営費の増加、販売管理業務の手数料収入の増加等により、前年同期(898百万円)比14.0%増の1,024百万円となりました。全社セグメントの利益は、増収により、前年同期(86百万円損失)から54百万円改善し、32百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、季節要因等による受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ403百万円増加し12,186百万円となりました。負債につきましては、借入金の返済による有利子負債等の減少はあったものの、季節変動要因により仕入債務や返品調整引当金が増加したこと等により、15百万円増加し4,871百万円となりました。純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末に比べ387百万円増加し7,315百万円となりました。

純資産から新株予約権を引いた自己資本は7,300百万円となり、自己資本比率は59.9%と前連結会計年度末(58.6%)と比べ1.3ポイント増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、出版メディアで新刊書籍の販売が想定を下回ったものの、デジタル広告、電子書籍販売、モバイルサービス事業の好調な推移と持分法投資利益の増加により、公表しております業績予想のレンジ内での推移となっております。

なお、通期連結業績につきましては、第4四半期連結会計期間において、出荷規模が拡大している季節商品の返品増加等により想定を下回る業績動向が見込まれるものの、第3四半期連結累計期間までの実績を勘案し、現時点では業績予想のレンジ内での推移を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,485,249	3,691,176
受取手形及び売掛金	3,632,911	4,527,444
有価証券	601,048	400,208
商品及び製品	1,004,686	1,082,572
仕掛品	102,424	87,895
繰延税金資産	86,768	86,768
その他	200,964	251,688
返品債権特別勘定	△20,900	△28,700
貸倒引当金	△8,250	△48,064
流動資産合計	10,084,902	10,050,989
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	470,515	474,469
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	209,318	218,029
その他	14,154	14,154
無形固定資産合計	223,473	232,183
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	536,989	976,560
破産更生債権等	77,069	67,224
繰延税金資産	40,034	36,221
その他	417,428	416,140
貸倒引当金	△67,230	△67,224
投資その他の資産合計	1,004,290	1,428,921
固定資産合計	1,698,279	2,135,574
資産合計	11,783,182	12,186,564
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,355,511	1,519,423
短期借入金	500,000	500,000
1年内償還予定の社債	40,000	—
1年内返済予定の長期借入金	251,336	274,134
未払法人税等	26,671	106,787
賞与引当金	136,443	33,455
返品調整引当金	187,022	216,659
その他	1,070,240	990,759
流動負債合計	3,567,224	3,641,218
<b>固定負債</b>		
長期借入金	263,788	166,582
繰延税金負債	44,603	34,632
退職給付に係る負債	975,968	1,025,059
その他	4,153	3,650
固定負債合計	1,288,513	1,229,924
負債合計	4,855,738	4,871,143



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	1,664,508	1,664,508
利益剰余金	619,081	1,035,546
自己株式	△722,054	△722,480
株主資本合計	6,902,557	7,318,595
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101,522	78,563
為替換算調整勘定	61,358	37,313
退職給付に係る調整累計額	△154,834	△133,756
その他の包括利益累計額合計	8,045	△17,879
新株予約権	16,840	14,704
純資産合計	6,927,443	7,315,420
負債純資産合計	11,783,182	12,186,564

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	8,702,435	9,131,530
売上原価	5,159,161	5,610,024
売上総利益	3,543,273	3,521,506
返品調整引当金繰入額	100,604	37,437
差引売上総利益	3,442,669	3,484,069
販売費及び一般管理費	2,857,939	2,958,259
営業利益	584,729	525,809
営業外収益		
受取利息	5,567	3,829
受取配当金	1,987	1,338
持分法による投資利益	30,829	52,084
貸倒引当金戻入額	1,155	—
その他	3,999	5,322
営業外収益合計	43,538	62,575
営業外費用		
支払利息	8,980	7,341
為替差損	1,507	270
その他	2,557	3,428
営業外費用合計	13,045	11,040
経常利益	615,222	577,344
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,135
その他	—	146
特別利益合計	—	2,282
特別損失		
投資有価証券売却損	30,439	—
投資有価証券評価損	—	1,399
特別退職金	20,335	—
貸倒引当金繰入額	41,173	—
その他	4,629	0
特別損失合計	96,578	1,400
税金等調整前四半期純利益	518,644	578,227
法人税、住民税及び事業税	99,896	125,124
法人税等調整額	△166	3,270
法人税等合計	99,730	128,395
四半期純利益	418,914	449,831
親会社株主に帰属する四半期純利益	418,914	449,831

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	418,914	449,831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,338	△22,958
為替換算調整勘定	△7,668	△24,045
退職給付に係る調整額	10,029	21,078
その他の包括利益合計	10,699	△25,925
四半期包括利益	429,614	423,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	429,614	423,906
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	IT	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	4,260,207	1,292,220	633,675	1,609,003	750,073	8,545,181	214,547	(57,293)	8,702,435
セグメント利益又はセグメント損失	365,468	15,624	44,178	276,815	103,055	805,142	(27,956)	(192,456)	584,729

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業等、電子出版等の事業開発、R&Dが含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△192,456千円には、インフラ利用料収入等11,050千円、セグメント間の内部売上高の取引消去△68,343千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△978,584千円、セグメント間の営業費用の取引消去843,421千円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	IT	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	4,357,808	1,313,826	649,284	1,595,142	1,028,031	8,944,092	249,987	(62,549)	9,131,530
セグメント利益	284,269	7,777	67,411	185,025	156,561	701,045	5,853	(181,089)	525,809

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業等、電子出版等の事業開発、R&Dが含まれております。

2. セグメント利益は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△181,089千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△62,549千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△1,053,707千円、セグメント間の営業費用の取引消去935,167千円が含まれております。